

当財団は第 36 回理事会を行い、令和 8 年度の事業計画及び収支予算が承認されました。

当財団では、自動車の新技術に対する理解促進、自動車業界への理解促進・人材確保のニーズの高まりを踏まえ、令和 5 年度より「自動車技術教育の抜本的強化」、同 7 年度には「財団活動の成果の見える化・質的向上」に取り組んできました。

同 8 年度はそれらに加え、「財団活動の更なる認知度向上」に注力し、高等学校に対する各支援内容の浸透・活用促進に繋げていきます。

高等学校の先生方とは適宜コミュニケーションを行っておりますが、まだまだ当財団の各支援活動についてご存知でない方が多いのが現状です。

そのため、各県の工業高校校長会での告知や全国高等学校長協会との連携による情報発信の強化を行います。

加えて、これまで繋がりが無かった一般メディアに対しても関係構築・記事化促進を図ります。

尚、当財団の事業毎の活動要旨は以下の通りです。

詳細については、以下 URL 内 PDF 資料「令和 8 年度 事業計画」をご参照願います。

<https://jaef.or.jp/about/report/>

#### < 1 > 技術教育支援事業

自動車の最新技術に関する活動（講師派遣、教材提供等）を強化し、自動車・機械系学科の他、電気・電子系学科の生徒にも自動車技術の理解促進を図る。また、活動の成果の定量的把握に継続して取り組むことに加え、令和 8 年 1 月より開始した自動車教材有効活用表彰制度(※)を適正に運用する。

#### < 2 > 研修事業

高等学校の先生方を対象とした教員研修会を開催し、モビリティの魅力や最新の自動車技術について学ぶ機会を提供する。また、高等学校などへの出前授業として専門講師を派遣し、環境・交通技術や交通安全を主なテーマに、全国の高校生へ広く受講機会を設ける。

#### < 3 > 調査研究事業

基礎的情報収集として国内外の調査を実施する。海外調査については、費用対効果の向上策を踏まえて実施する。

#### < 4 > 普及啓発事業

これまでの活動（外部団体 HP・各種ツールの活用、先生方に近接した機会での財団支援活動等の告知）に加えて、動画サイト「早わかり!クルマ塾」の認知度向上・視聴回数増加に向けた新規取り組みを実施する。更に一般メディアとの関係を新たに構築し、記事化促進を図る。

※ 当財団が提供した教材を有効活用（小・中学生を対象とした「高校紹介」「出前授業」等）している高等学校を表彰する制度

---

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信
2. SNS でのコメント、返信

ツイッター <https://twitter.com/jidousyakyouiku>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>